

～施工事例～ 玉島H様邸外構工事



玄関までのアプローチを新しくしました。
途中に一段増やし、玄関ポーチの段差を小さくしました。
また、グリーンの踏み石を配して、アンティーク調のレンガと共に、素敵なアクセントになっていますね♪
毎日ここを通るのが楽しみな、アプローチになりました。o(*^▽^*)

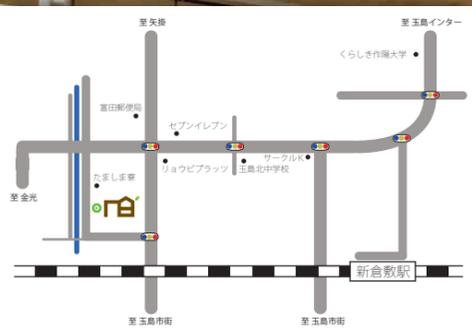


塀はそのままに、門扉とカーポートとして伸縮扉を新設しました。
伸縮扉はペット用で、隙間が小さくなっています。
すべて白で統一され、家とマッチした素敵な外観になりました。
ポストがモダンで目をひきますね。



周りを白いフェンスで囲い、日よけの為のサンシェードを設置しました。
そして、地面には人工芝を敷きました。
この人工芝は天然芝に近い見た目と手ざわりのリアル人工芝です。
面倒なお手入れもいらないんです。
ワンちゃんも喜んでくれるかな(*o~*)

施主様の思い描く未来に沢山のわがまを盛り込んで、またその次の世代も安心して住み継げる家。これが私たちネクサスアーキテクトの目指す家創りです。



株式会社
ネクサスアーキテクト
☎ 086-441-0650
〒713-8113
岡山県倉敷市玉島八島 1384-2
FAX 086-441-0665
<http://nexus-architect.com>

ネクサス通信 vol.18

H.27.8.10 nexus-architect

特集 ～戦後70年 今も残る戦争遺跡～

もうすぐ8月15日の終戦記念日。今年には戦後70年という節目の年ですね。
岡山市内も70年前の、昭和20年6月29日 午前3時頃
アメリカ軍の爆撃機・ボーイングB-29およそ140機により、岡山市への爆撃を受けました。
焼夷弾約95000発投下され、市街地は一面火の海となり、逃げ場を失った1700人を超える市民が犠牲となり、市内はほぼ壊滅状態となりました。



現在の県庁通りから西を見渡す



天満屋



岡山空襲の最中に撮影された航空写真

玉島砲台跡

玉島乙島の高山山頂に砲台跡と弾薬庫跡が残っています。
昭和20年、水島の航空機製作工場を米軍のB29爆撃機から防御するために、三基の高角砲が設置されたそうです。
工場の取り巻くように連島の大平山、水島の亀島山・中畝のような平地にも同様の砲台が構築されました。
実際、水島空襲の時には、この砲台から反撃したそうです。



亀島山地下工場



水島コンビナート入口に亀島山という標高78mの小さな山があります。
第二次世界大戦末期にアメリカ軍の空襲を避けるため、三菱重工業水島航空機製作所の一部を移転させた地下工場がこの山の地下に建設され、亀島山地下工場と呼ばれました。
網の目のように掘られたトンネルの総延長は2キロに及び、建設には多くの朝鮮人が動員されたそうです。
崩落の危険がある為、今は立ち入り禁止になっています。

戦後70年、戦争の記憶が風化していく今、こうした貴重な戦争遺産を保存し、生きた教材として、後世に伝えていくことも私たちの役目だと思いました。
これらの戦争遺跡を通じて、戦争を体験した方の話を聞いたり、家で戦争や平和について会話をきっかけになればいいですね。



～DIYで網戸張り～

蚊の気になるこの時期、DIYで網戸を張り替えてみませんか。
張り替えた事のある方もたくさんおられると思います。
でもまだ張り替えた事のない方、私もこの前貼り替えたので、
参考にして、ぜひトライしてみてください。o(*^▽^*)o



手順

1. 準備

網戸止めている押さえゴムの太さは色々。
今付いているゴムを少し外して、3センチほどサンプルとして切って持って行きましょう。
また網戸を外す時、外れ止めが付いている物もあります。上側の左右にストッパーが付いている
場合はネジを緩めて、ストッパーを下げてください。下側にもストッパーが付いている物もあるので
解除してから外して下さいね。

※2階や高い所にある網戸で、取り外しが危険と思ったら、無理をせず業者にお願いしましょう。

2. 用意する物

いざホームセンターへ。網戸のコーナーに行くと、沢山の種類が！
外がスッキリ見える黒色や、外から見にくい灰色、その両方を
兼ねた銀黒色、虫よけ剤入りの網やペット用など色々な種類が
あります。網戸、押さえゴム、押さえローラーを買って準備OK！
その他、ゴムを外すのに細いマイナスドライバーや網を切るカッター
ナイフも用意しましょう。



3. 作業する

作業する場所は平らでしっかりした所を選んで下さい。

- ①マイナスドライバーで古い押さえゴムと網を外し、古い歯ブラシなどで溝を掃除します。
(こんな時じゃないと掃除しませんからね。この時取っ手などが邪魔な場合は外して下さい。)
- ②網を枠より少し大きめに切って、専用クリップや押さえゴムの切れで仮止めします。
- ③押さえゴムをローラーで押し込んでいきます。
(きれいに張るコツは、長手方向から耳の幅をなるべくそろえて張っていくことです。
右利きの方は時計回りに押さえっていくと、作業しやすいですね。
たるまないように張りますが、引っ張りすぎるとゴムが外れます。ほどほどに。)

- ④はみ出した網戸はカッターで切ります。
(ついでに戸車の動きも見ておきましょう。
ゴミが詰まったり、錆びて動きが悪くなったりします。
掃除して、潤滑油などでメンテナンスしましょう。)

- ⑤網戸を元に戻します。(外れ止めを付けるのを忘れずに！)
最初は手こずるかもしれませんが、2枚ほど張るとなれてきます。
上手くできなくてもいいんです。私も失敗しました。

失敗した網は、また小さい網戸に使えばいいんです。Do It Yourself! DIYですから。
失敗しても内緒にしておいて、できるお父さんを見せてやりましょう(^-^*)b



～○○好きな私～

サッカーも大好きですが、ミスチルも大好きな私。
ツアーがあるたびに参戦しています(^-^)

先日、Mr.Children stadium tour 2015 未完@EDIONスタジアム広島に行ってきました!!
かなり余裕を持って出発しましたが、五日市あたりから大渋滞の為、
通常なら15分の距離が、なんと2時間!!



開演には間に合わず(*_*) 走って走ってやっとたどり着いた会場は、観客47000人の熱気もプ
ラスされ35度を超える暑さ、あちらこちらで担架で運ばれる人が続出(@_@)

暑かったけれど、開放的な空間と大好きな音楽で日頃の疲れも吹き飛ば癒されました(^-^)

好きなモノや好きな事で、エネルギーをチャージして、

また頑張っていこう!!そんな風に思えた一日でした(^-^)

※スタッフの矢部君の奥様も参加していたのに、会えず仕舞でした(-_-)/



～おうちコラム～

今回は、『耐震性能』についてのお話です。

住宅やビルはもちろん、瀬戸大橋もスカイツリーも、全て建築基準法という
法律によって人々の安全安心な暮らしを守るための『最低限の基準』
を定めています。しかし、この基準法は大地震の度に改正されてきました。



1978年の宮城県沖地震を受けて1981年(昭和56年)に、1995年の阪神淡路大震災を
受けて2000年(平成12年)に耐震性が見直されたのです。

つまり、それまで安全とされてきた基準では地震に耐えられなかったんです。

また、2001年に『住宅の品質確保の促進等に関する法律』が制定され、ここで初めて耐震
等級が取り入れられました。

少し難しい話になりますが、最初の改正が行われた昭和56年6月1日以降に建てられた建物を
『新耐震基準による建物』と呼びます。

それ以前に建てられた建物に対し、積極的に耐震改修を行えるよう、岡山市では80万円、
倉敷市では72万円を上限(補助率1/2)に補助金が用意されています。

(その他各市町村によって補助金の有無、補助率、金額等に違いがあります。)

疑問に思われる方もおられると思いますが、昭和56年以降で

平成12年以前に建てられた建物はどうでしょう。

これは結構重要なところなのですが、南面に大きな連装の窓があったり
するお宅など、耐力壁のバランスが悪い建物は注意が必要です。

市町村の補助金はありませんが、『うちはどう?』と思われる
方はぜひ一度、耐震診断をしてみたいかかでしょうか?

『一番安心できるはずの我が家が凶器になってはいけません。』

あの悲劇が起きるまで、神戸の街にも地震は来ないと
言われていました。

何かあってからでは、家族の笑顔は守れないのです。

